



第1会場●2F 第4研修室

■司 会／大城喜江子 NPO法人なはまちづくりネット 代表
松本 英俊 長崎県長与町教育委員会生涯学習課 指導員

分科会の進め方

10:45~10:50

1 別府プロジェクト:子どもとアーティストの出会いの演出 —子どもが挑んだコミュニティダンス・ワークショップの5日間—

10:50~11:20

安達美和子(大分県別府市 NPO法人BEPPU PROJECT)

企業の支援を受け、「ダンス表現」を素材に子どもとアーティストの出会いを演出して5日間のワークショップを開催した。個々の子どもの日常にそれぞれ独自のダンスを造り上げ、学校をステージに公演・発表会を実施し、創造力、表現力など子どもの成長を促すことを目標とした。同時に活動を見守った先生方や保護者のみなさんの、子どもとアーティストの出会いの意義に対する評価の向上を目的とし、大分県における広報効果を重視した。

2 遊限会社「子育て建設」による幼児教育ネットワーク —お父ちゃんの背中ではでっかいぞ—

11:25~11:55

三浦 竜也(島根県益田市 遊限会社「子育て建設」 代表)
塩満 保(島根県益田市 都茂公民館 副館長)

未就学児を持つ忙しい父親(保護者)有志が、子どもと遊ぶ時間を限りなく作る目的で遊限会社「子育て建設」と命名し結集。公民館等の社会教育施設を拠点としたプログラムを創造し、地域で子育ての輪を広げる。この内容は島根県にも認められ、島根県の「実証『地域力』醸成プログラム事業」の助成を受け、公民館と協働の形態を取って活動している。父親(保護者)相互の交流が深まる様子は、地域で取り組む機運の向上にもつながり、今後は小学校低学年まで活動の輪を広げる予定である。

3 小学生の宿泊・野外体験プログラムの実践蓄積に見る教育効果 —佐賀県白石町立有明西小学校の体験活動の企画と地域連携—

12:00~12:30

百武 博文(佐賀県白石町立有明西小学校 教諭(教務主任))

中・高学年を対象に、学校行事として通年で段階的、断続的に実施する長期宿泊や野外活動プログラムを企画。地域のキャンプ協会、ボーイスカウト、PTAなどと連携し子どものコミュニケーション能力、社会性、自立性の向上を目指した。成果は、目的とした子どもの変容に関してプログラムの妥当性が検証され、地域との協力・連携の体制を整えることができたことである。